

1. 平成20年産大豆入札取引の概況

(1) 取引参加者登録状況（表1-1-1）

売り手登録者は、前年産と同じく全農、全集連の2者であった。

買い手登録者は、法人、個人合わせて180者で前年産の184者からやや減少した。

また、同一の法人で本社、支社等がそれぞれ参加する場合にそれぞれを1とした事業所数ベースの登録者数は、187者で前年産の192者から5者減少した。

（以下、入札者数等は、事業所ベースによる。）

表1-1-1 平成20年産大豆入札取引登録者数

区分	平成20年産	前年産
売り手登録者	2	2
買い手登録者 (事業所数)	182	187
事業体数	189	180
うち新規	7	2
うち継続	182	178

注1. 買い手登録者数(事業所数)は、同一企業で複数の事業所(本店、支店等)を登録した場合、それぞれを1と数えた数である。

注2. 継続には、会社組織が変更になる等で新規の組織が以前の組織から業務を承継した場合を含む。

(2) 入札取引開催状況と入札参加状況

平成20年11月26日の第1回から平成21年9月16日の第19回までの計19回の開催であった。月別には11月、1月、9月各1回、12月及び2月以降8月まで各月2回開催した。(表1-1-2)

各回の入札者数(図1-1-1)は、第11回(5月13日)の78者が最も多く、第1回(11月26日)の22者が最も少なかった。全期間を通じてほとんどの回で入札者数が平成19年産を下回った。

入札回数別買い手登録者の分布(表1-1-3)をみると、前年産に比較して入札回数11回以上の割合が低くなり、10回以下の割合が増加した。また、一度も入札しなかった買い手登録者は、56者(前年産44者)であった。

表 1-1-2 平成20年産大豆入札取引開催状況

入札回	入札日	上場者	入札者	ロット数		
		者	者	上場	入札	入札/上場
第1回	平成20年11月26日	1	22	80	87	1.1
11月計				80	87	1.1
第2回	12月10日	2	49	177	201	1.1
第3回	12月24日	2	41	269	217	0.8
12月計				446	418	0.9
第4回	平成21年1月21日	2	64	543	439	0.8
1月計				543	439	0.8
第5回	2月4日	2	56	611	292	0.5
第6回	2月18日	2	68	657	362	0.6
2月計				1,268	654	0.5
第7回	3月4日	2	66	779	385	0.5
第8回	3月18日	2	70	788	452	0.6
3月計				1,567	837	0.5
第9回	4月8日	2	77	816	465	0.6
第10回	4月22日	2	73	842	467	0.6
4月計				1,658	932	0.6
第11回	5月13日	2	78	881	393	0.4
第12回	5月27日	2	62	922	326	0.4
5月計				1,803	719	0.4
第13回	6月10日	2	61	826	317	0.4
第14回	6月24日	2	56	624	231	0.4
6月計				1,450	548	0.4
第15回	7月15日	2	51	548	206	0.4
第16回	7月29日	2	39	373	190	0.5
7月計				921	396	0.4
第17回	8月12日	2	34	301	145	0.5
第18回	8月26日	1	33	318	153	0.5
8月計				619	298	0.5
第19回	9月16日	2	30	345	115	0.3
9月計				345	115	0.3
20年産累計				10,355	5,328	0.5

図 1-1-1 入札回別入札者数（前年産比較）

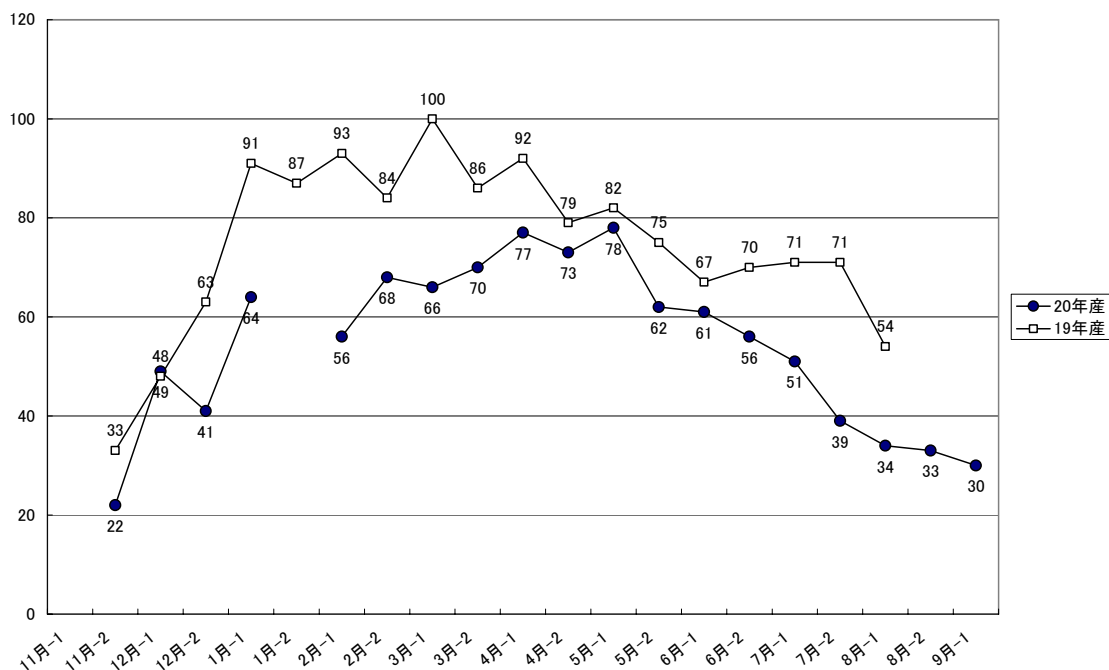


表 1-1-3 入札回数別買い手数(前年産比較)

区分	平成19年産	平成20年産	割合	
			平成19年産	平成20年産
買い手登録者数	187	189	100.0%	100.0%
0回	44	56	23.5%	29.6%
1～5回	44	52	23.5%	27.5%
6～10回	34	42	18.2%	22.2%
11回以上	65	39	34.8%	20.6%

(3) 国産大豆の需給と入札取引数量

平成20年産大豆の生産は、作付面積が全国で8千8百ヘクタール増加し、作柄も前年産を上回ったことから、収穫量は、前年産に比べ35千トン増の262千トンとなった。(表1-1-4)

表 1-1-4 平成20年産大豆生産概況

	19年産	20年産	対前年増減
作付け面積(ha)			
全国	138,300	147,100	8,800
北海道	22,700	24,000	1,300
都府県	115,600	123,100	7,500
収穫量(t)			
全国	226,700	261,700	35,000
北海道	53,600	56,800	3,200
都府県	173,100	204,900	31,800
単収(kg/10a)			
全国	164	178	14
北海道	236	237	1
都府県	150	166	16

資料. 農林水産省作物統計

国産大豆の需給状況を表1-1-5に示す。

平成20年産は、前年産に比べて、収穫量、集荷数量とも3万トン以上増加したが、落札数量は、3万トン以上減少し、集荷数量に対する落札数量の割合は、前年産の34%から12%に低下した。

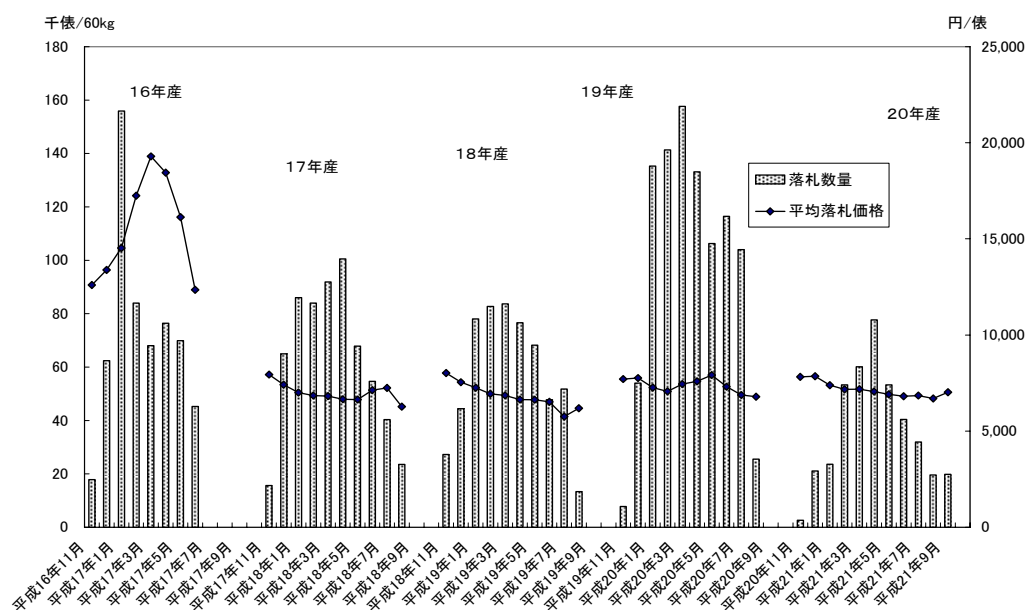
表1-1-5 国産大豆需給の推移

事項	(単位)	平成16年産	平成17年産	平成18年産	平成19年産	平成20年産	増減
作付面積	ha	136,800	134,000	142,100	138,300	147,100	8,800
①収穫量	トン	163,200	225,000	229,200	226,700	261,700	35,000
②検査数量	トン	105,566	156,240	172,780	184,649	218,771	34,122
普通・特定加工用②a	トン	105,006	155,010	171,762	183,170	216,862	33,692
種子用	トン	560	1,231	1,017	1,480	1,909	429
①-②		57,634	68,760	56,420	42,051	42,929	878
③集荷数量	トン	97,637	143,679	163,019	173,828	204,013	30,185
②a-③	トン	7,370	11,331	8,743	9,342	12,849	3,507
④落札数量	トン	34,772	37,752	34,407	58,880	24,211	-34,669
③-④	トン	62,865	105,927	128,612	114,948	179,802	64,854
④/③落札数量割合	%	35.6%	26.3%	21.1%	33.9%	11.9%	

資料. 農林水産省作物統計、農林水産省総合食料局大豆検査結果

平成16年産から平成20年産までの月別の落札数量と平均落札価格の推移をグラフに示す(図1-1-2)。

図1-1-2 月別落札数量・平均落札価格の推移



平成20年産の各月の落札数量は、前年に比較して大きく減少しただけでなく、前々年産以前に比べても少なく、取引が低調な中で推移した。しかし、平均落札価格は、高騰した平成16年産の翌年の平成17年産以降、安定的に推移している。

全農、全集連の集荷数量は30千トン増の204千トンとなり、そのうち、入札取引により販売された数量は、35千トン減の24千トンとなった。

売り手の販売数量(=集荷数量)を入札取引、相対取引、契約栽培取引の3種類の販売方法別数量に区分してみると、入札取引による販売数量(以下、「落札数量」という。)の割合は、19年産では33.9%と価格形成上望ましいとする目標の1/3以上を達成することができたが、20年産では、11.9%と今までにない低い水準となった。(図1-1-3, 表1-1-6)

図1-1-3 販売方法別販売数量の推移

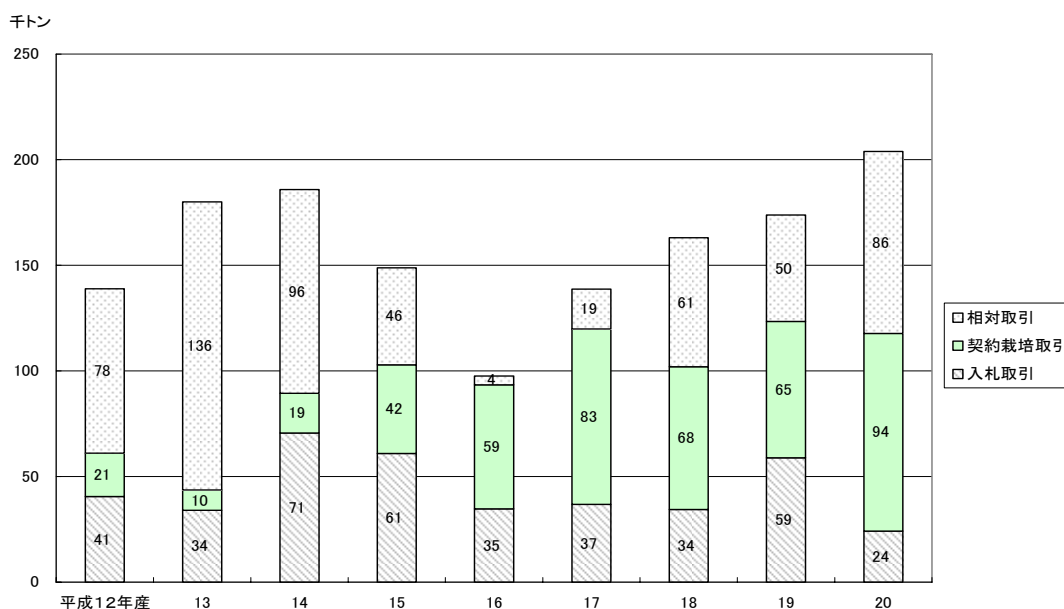


表1-1-6

年産	数量(トン)			割合(%)		
	入札取引	相対取引	契約栽培取引	入札取引	相対取引	契約栽培取引
平成12年	40,563	77,768	20,541	29.2%	56.0%	14.8%
13	34,051	136,313	9,624	18.9%	75.7%	5.3%
14	70,637	96,458	18,767	38.0%	51.9%	10.1%
15	60,936	45,893	41,993	40.9%	30.8%	28.2%
16	34,772	4,164	58,701	35.6%	4.3%	60.1%
17	36,866	18,835	83,034	26.6%	13.6%	59.9%
18	34,407	60,983	67,629	21.1%	37.4%	41.5%
19	58,879	50,410	64,540	33.9%	29.0%	37.1%
20	24,211	86,075	93,599	11.9%	42.2%	45.9%

業務規程において、売り手毎の販売予定数量の総量と販売予定数量が500トン以上の産地品種銘柄(粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。)につい

て1/3以上が入札取引によって販売することが求められているが、その状況をみたのが表1-1-7である。

集荷数量に対する落札数量の割合（落札割合）が30%を上回った銘柄は、北海道、北九州等の主産地以外の産地の銘柄であり、北海道とよまさり、スズマル、佐賀フクユタカ、新潟エンレイ、山形リュウホウ等主要な銘柄の落札割合は、10%を下回った。

表1-1-7 産地品種銘柄別販売実績

(1) 集荷数量に対する落札数量の割合が30%以上の産地品種銘柄

(産地品種銘柄の品種で粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。)

単位：トン、円/60kg

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			落札実績 計	落札割合	落札価格
		全農	全集連	計			
千葉	サチユタカ	48		48	30	61.9%	6,853
岡山	トヨシロメ	167		167	102	61.2%	7,053
愛媛	タマホマレ	3		3	2	59.0%	7,400
山口	フクユタカ	172		172	84	48.8%	6,737
山口	サチユタカ	760		760	357	46.9%	6,686
岡山	サチユタカ	134		134	60	44.6%	7,193
広島	サチユタカ	440		440	191	43.4%	6,626
滋賀	タマホマレ	577	24	601	261	43.4%	6,782
奈良	サチユタカ	53		53	22	41.3%	6,725
岩手	ナンブシロメ	1,534		1,534	609	39.7%	6,961
兵庫	夢さよう	106		106	41	38.2%	7,010
鳥取	タマホマレ	213		213	79	37.0%	6,607
福島	スズユタカ	293		293	106	36.2%	6,525
香川	フクユタカ	85		85	31	36.2%	6,894
埼玉	タチナガハ	201		201	71	35.3%	8,084
高知	フクユタカ	124		124	40	32.2%	6,827
鳥取	サチユタカ	743		743	238	32.0%	6,665
島根	サチユタカ	602		602	188	31.3%	6,685
青森	オクシロメ	76		76	24	31.0%	6,644
福井	エンレイ	1,585		1,585	475	30.0%	6,538

(2) 集荷数量に対する落札数量の割合が30%未満の産地品種銘柄

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			落札実績 計	落札割合	落札価格
		全農	全集連	計			
宮城	ミヤギシロメ	4,525		4,525	1,344	29.7%	6,975
岐阜	フクユタカ	3,838		3,838	1,133	29.5%	6,927
静岡	フクユタカ	178		178	50	28.3%	6,791
長野	ナカセンナリ	1,238		1,238	327	26.4%	7,732
島根	フクユタカ	38		38	10	26.1%	6,650
兵庫	サチユタカ	397		397	99	24.9%	6,872
滋賀	ことゆたか	326		326	79	24.3%	6,792
大分	フクユタカ	578	5	583	139	23.8%	6,988
長崎	フクユタカ	702		702	158	22.6%	6,989
群馬	タチナガハ	267		267	59	22.2%	6,717
愛知	フクユタカ	5,675		5,675	1,245	21.9%	6,989
三重	フクユタカ	4,115		4,115	881	21.4%	6,864
山形	タチユタカ	972		972	199	20.5%	6,454
石川	エンレイ	1,802		1,802	368	20.4%	6,545
富山	オオツル	840		840	168	20.0%	6,587
富山	エンレイ	7,474		7,474	1,455	19.5%	6,724
千葉	フクユタカ	306		306	59	19.4%	6,897
愛媛	フクユタカ	358		358	68	18.9%	7,292
宮城	あやこがね	1,165		1,165	208	17.8%	6,693
岡山	タマホマレ	56		56	10	17.7%	7,200
滋賀	フクユタカ	2,992	6	2,998	515	17.2%	6,793
大分	むらゆたか	1,399	85	1,484	245	16.5%	6,826
滋賀	エンレイ	122		122	20	16.4%	7,149
茨城	納豆小粒	1,784	371	2,155	347	16.1%	10,832
福岡	フクユタカ	16,380	207	16,587	2,664	16.1%	6,973
北海道	大袖振	3	70	73	12	15.8%	10,578
新潟	コスズ	66		66	10	15.0%	11,000
長野	タチナガハ	284		284	40	13.9%	6,385
北海道	ユキシズカ	851	969	1,820	253	13.9%	11,128
滋賀	オオツル	2,480	12	2,492	299	12.0%	6,950
秋田	タチユタカ	463		463	50	10.7%	6,570
宮城	タチナガハ	3,015		3,015	307	10.2%	6,785
青森	おおすず	5,095	50	5,145	516	10.0%	6,728
北海道	音更大袖振	993	44	1,037	100	9.7%	7,720
熊本	フクユタカ	4,103	11	4,114	386	9.4%	6,986
北海道	つるの子	447		447	40	8.9%	6,783
北海道	秋田	1,444	36	1,480	129	8.7%	6,916
北海道	ツルムスメ	1,163		1,163	100	8.6%	7,344
島根	タマホマレ	239		239	20	8.3%	6,655
新潟	エンレイ	11,311	15	11,326	911	8.0%	6,566
茨城	タチナガハ	2,794	164	2,958	235	8.0%	6,682
栃木	タチナガハ	7,616	352	7,968	618	7.8%	6,729
福島	タチナガハ	1,290		1,290	99	7.7%	6,640
佐賀	むらゆたか	3,327		3,327	255	7.7%	7,027
秋田	リュウホウ	10,841	235	11,076	841	7.6%	6,684
山形	リュウホウ	2,087		2,087	158	7.6%	6,534

(続き)

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			落札実績 計	落札割合	落札価格
		全農	全集連	計			
北海道	スズマル	5,408	318	5,726	381	6.6%	11,611
山形	あやこがね	372		372	23	6.1%	6,656
北海道	とよまさり	30,866	2,005	32,871	1,913	5.8%	7,445
佐賀	フクユタカ	18,492	142	18,634	1,040	5.6%	7,030
北海道	ハヤヒカリ	359		359	20	5.5%	6,000
山形	エンレイ	4,704		4,704	248	5.3%	6,649
長野	つぶほまれ	205		205	10	4.8%	6,500
岩手	スズカリ	852		852	40	4.6%	6,610
宮城	タンレイ	4,850		4,850	218	4.5%	6,770
石川	あやこがね	289		289	10	3.4%	6,500
岩手	リュウホウ	931		931	30	3.2%	6,356
茨城	ハタユタカ	363	47	410	10	2.4%	6,510
秋田	すずさやか	1,780		1,780	20	1.1%	6,235

(3) 落札実績のない産地品種銘柄

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			県名	銘柄	平成20年産集荷数量		
		全農	全集連	計			全農	全集連	計
北海道	タマフクラ	7		7	福井	あやこがね	49		49
北海道	大袖の舞	36	24	60	福井	オオツル	21		21
北海道	ゆきぴりか	29	0	29	福井	その他	4		4
北海道	スズヒメ		19	19	長野	すずろまん	49		49
北海道	その他	1	8	9	長野	ギンレイ	229		229
岩手	青丸くん	60		60	岐阜	タチナガハ	62		62
岩手	コスズ	90		90	愛知	その他	1		1
岩手	ミヤギシロメ	106		106	三重	タマホマレ	7		7
岩手	ユキホマレ	17		17	三重	オオツル	31		31
宮城	きぬさやか	518		518	三重	スズオトメ	62		62
宮城	コスズ	145		145	三重	その他	6		6
宮城	その他	15		15	滋賀	その他	1	2	3
秋田	コスズ	122		122	兵庫	オオツル	48		48
秋田	おおすず	56		56	兵庫	タマホマレ	1		1
山形	すずかおり	88		88	鳥取	すずこがね	32		32
山形	スズユタカ	20		20	鳥取	エンレイ	6		6
山形	その他	9		9	鳥取	フクユタカ	9		9
福島	コスズ	21		21	鳥取	その他	1		1
福島	ふくいぶき	88		88	島根	トヨシロメ	2		2
福島	おおすず	19		19	岡山	その他	5		5
茨城	その他		34	34	広島	アキシロメ	71		71
栃木	たまうらら	3		3	広島	ハタユタカ	6		6
栃木	納豆小粒	206	11	217	愛媛	サチユタカ	47		47
栃木	なごみまる	18		18	福岡	すずおとめ	96		96
栃木	すずさやか		187	187	福岡	キヨミドリ	7		7
群馬	ハタユタカ	9		9	熊本	すずおとめ	55		55
埼玉	白光	29		29	大分	トヨシロメ	249	37	286
千葉	タチナガハ	53		53	大分	きよみどり	5		5
新潟	あやこがね	253		253	大分	エルスター	16		16
新潟	タチナガハ	38		38	大分	すずおとめ	17		17
新潟	すずろまん	28		28	大分	その他		2	2
石川	コスズ	23		23	宮崎	フクユタカ	150		150
石川	フクユタカ	25		25	鹿児島	フクユタカ	210		210
石川	その他	1		1					

注. 宮城県産きぬさやかは、販売予定数量500トン以上の銘柄であるが、本品種を加工食品の原料として使用するには特許権保有者の許諾が必要であることから、入札取引にそぐわない銘柄とされたものである。

(4) 入札・落札状況

入札状況を相場・入札ロット数の比較で見ると、ほぼ全期間を通じて入札ロット数が相場ロット数を下回る状況で推移した。

落札結果をみると、落札下限価格未達による不落札が不落札の多くを占め、競争の結果による不落札は少ない状況で推移した。(図1-1-4、5)

図1-1-4 入札回別相場・入札・落札ロット数推移

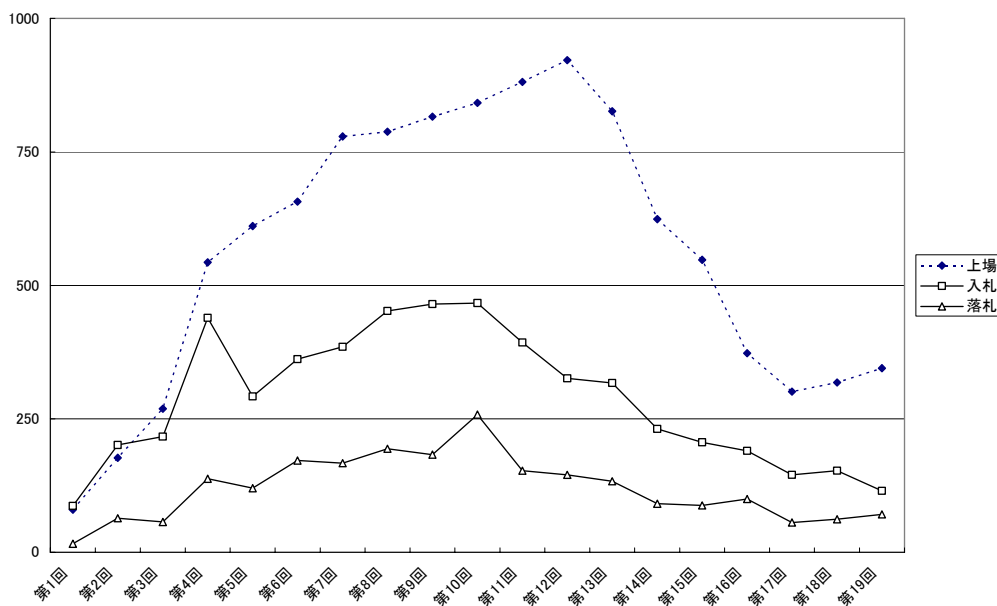
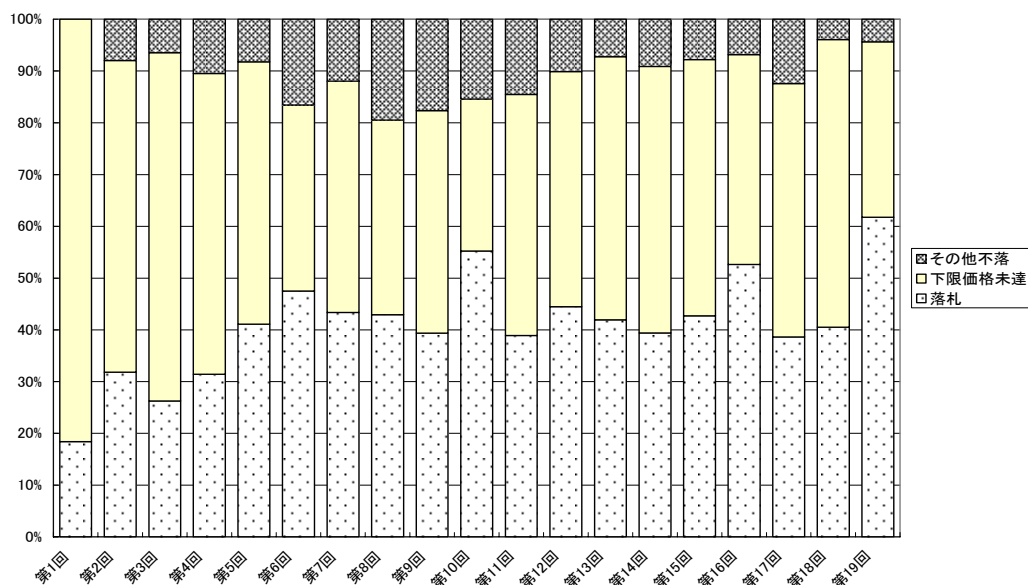


図1-1-5 落札結果別ロット数分布



注. 各回の買い手入札ロットの計を100とした場合のロット数割合
 数値は、各区分のロット数

下限価格は落札下限価格をいう。

月ごとの落札状況は、表1-1-8のとおりである。

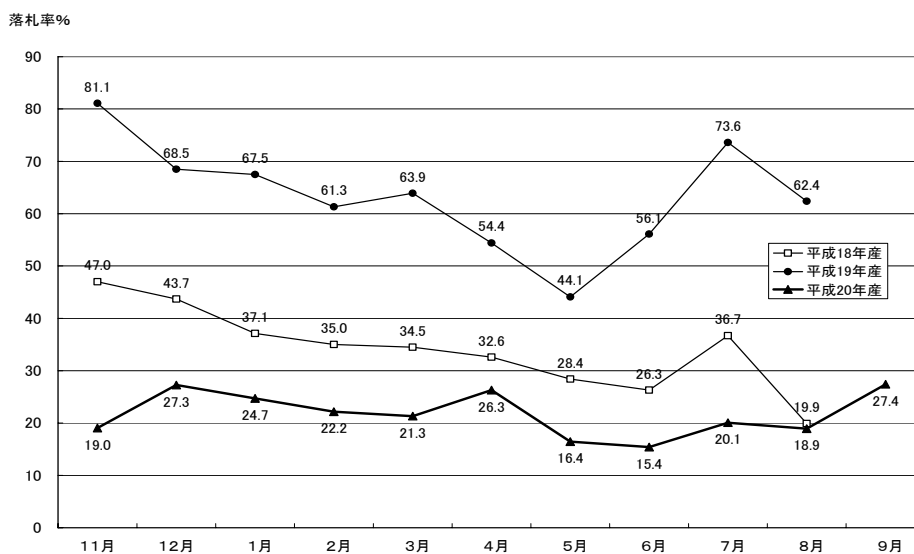
表1-1-8 月別上場・落札数量・平均落札価格・落札率

区分	上場数量 トン	落札数量 トン	落札価格 円/60kg	落札率 %
11月計	831.6	158.4	7,822	19.0
12月計	4,642.4	1,266.2	7,855	27.3
1月計	5,729.2	1,415.5	7,391	24.7
2月計	14,430.8	3,200.5	7,173	22.2
3月計	16,924.2	3,608.1	7,179	21.3
4月計	17,716.8	4,658.1	7,060	26.3
5月計	19,460.9	3,201.1	6,910	16.4
6月計	15,717.0	2,422.8	6,822	15.4
7月計	9,560.0	1,917.5	6,848	20.1
8月計	6,203.9	1,173.8	6,700	18.9
9月計	4,336.2	1,189.0	7,027	27.4
20年産累計	115,553.0	24,210.9	7,079	21.0
19年産累計	98,486.3	58,879.9	7,364	59.8
18年産累計	102,844.2	34,418.5	6,835	33.5

注. 普通大豆・特定加工用大豆合計及びその加重平均落札価格である。

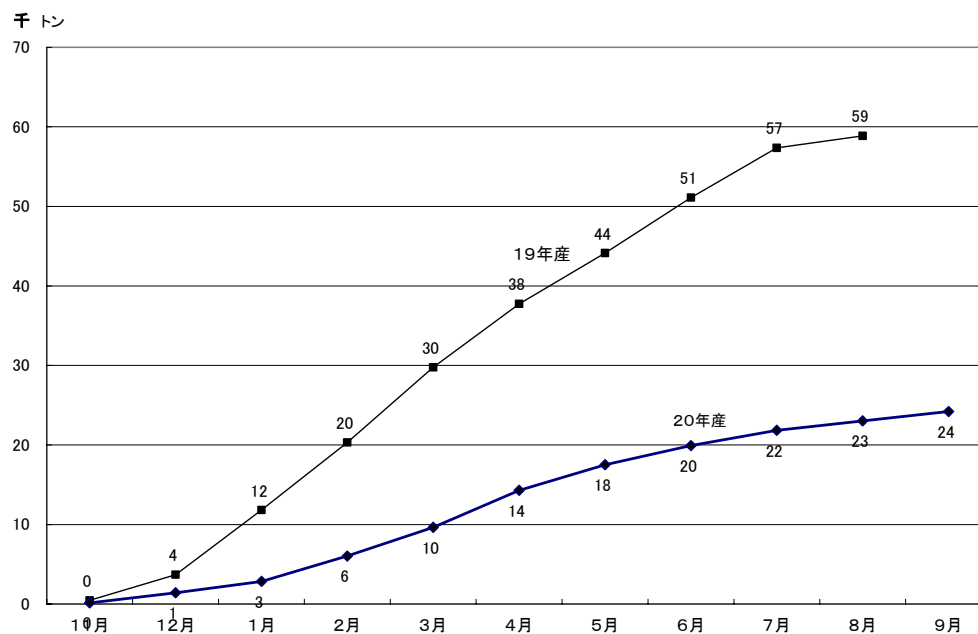
上場数量に対する落札数量の割合（落札率）を月別にみると、最高が9月の27.4%、最低が6月の15.4%であったが、各月とも18年産、19年産を下回った。（図1-1-6）

図1-1-6 月別落札率の推移（年産比較）



各月までの落札数量の累積をみると、前年を大きく下回って推移した。(図1-1-6)

図1-1-7 月別累積落札数量の推移(前年産比較)



取引数量を産地別にみると(表1-1-9)、売り手の集荷数量は、北海道が前年並み、愛知県が減少したが、東北、北陸、九州の主要な産地は、いずれも前年に比べて増加した。

一方、落札数量は、ほとんどの産地で前年に比べて大幅に減少した。

表 1-1-9 産地別別入札取引数量（前年産比較）

単位：トン

区分	集荷数量			落札数量		
	平成19年産	平成20年産	対前年差	平成19年産	平成20年産	対前年差
北海道	44,973	45,100	127	9,665	2,947	-6,717
青森県	4,690	5,221	532	1,987	540	-1,447
岩手県	2,260	3,590	1,330	754	679	-75
宮城県	13,415	14,233	818	5,089	2,076	-3,013
秋田県	8,910	13,497	4,587	3,951	911	-3,040
山形県	6,156	8,252	2,096	2,281	627	-1,653
福島県	1,261	1,711	450	458	205	-253
茨城県	4,441	5,558	1,117	1,401	592	-809
栃木県	7,167	8,393	1,226	2,201	618	-1,583
群馬県	377	276	-101	129	59	-69
埼玉県	283	230	-53	98	71	-28
千葉県	383	407	24	161	89	-72
新潟県	7,350	11,711	4,361	2,836	921	-1,915
富山県	6,518	8,314	1,796	3,096	1,624	-1,472
石川県	1,656	2,140	484	545	377	-167
福井県	1,067	1,659	592	479	475	-3
長野県	1,913	2,005	92	594	376	-217
岐阜県	3,136	3,900	764	1,971	1,133	-838
静岡県	130	178	48	40	50	10
愛知県	6,687	5,676	-1,011	3,574	1,245	-2,329
三重県	4,067	4,221	154	2,307	881	-1,425
滋賀県	4,890	6,541	1,652	1,624	1,174	-450
兵庫県	403	552	149	130	140	10
奈良県	73	53	-20	31	22	-9
鳥取県	764	1,004	240	318	317	-2
島根県	734	881	147	351	218	-133
岡山県	279	362	83	119	172	53
広島県	432	517	85	192	191	-1
山口県	683	932	249	362	441	79
香川県	58	85	27	20	31	11
愛媛県	309	408	99	104	69	-34
高知県	193	124	-69	83	40	-43
福岡県	14,104	16,690	2,586	4,454	2,664	-1,790
佐賀県	17,455	21,961	4,506	5,195	1,295	-3,901
長崎県	604	702	98	206	158	-48
熊本県	3,885	4,169	284	1,271	386	-885
大分県	1,597	2,393	796	629	396	-233
宮崎県	218	150	-68	64	0	-64
鹿児島県	310	210	-100	111	0	-111
全国計	173,829	204,007	30,177	58,880	24,211	-34,669

(5) 落札価格

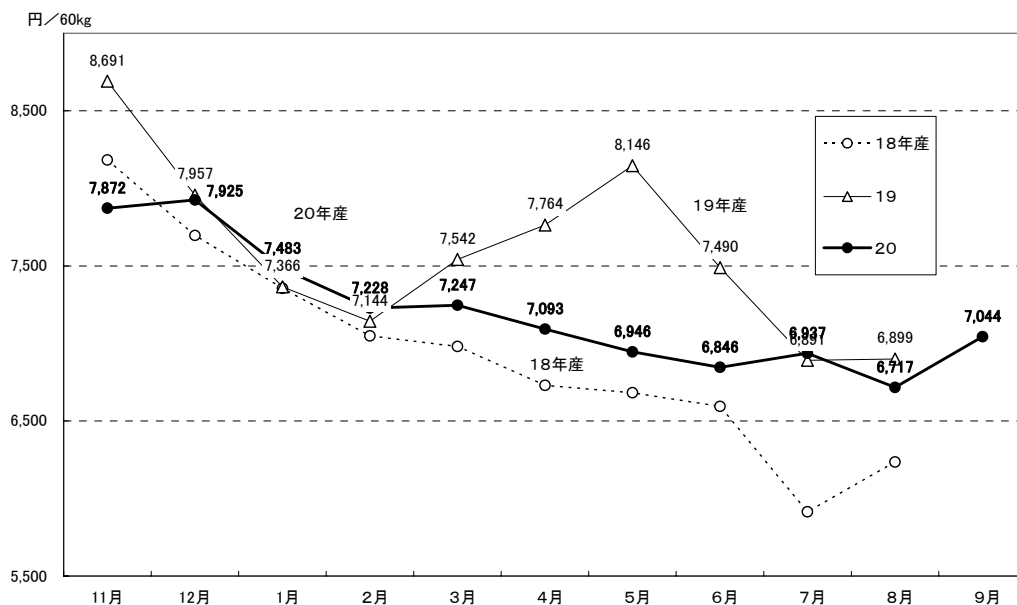
1 俵 (60kg) 当たり年産平均落札価格 (普通大豆) は、前年産 (7, 492 円) から少し下がり、7, 129 円であった。(表 1-1-10)

表 1-1-10 月別平均落札価格 (普通大豆・16~20 年産)

単位: 円/60kg

年産	16年産	17	18	19	20
11月	13,150	8,337	8,183	8,691	7,872
12月	13,771	7,602	7,697	7,957	7,925
1月	15,064	7,143	7,355	7,366	7,483
2月	17,679	6,960	7,048	7,144	7,228
3月	19,571	6,934	6,981	7,542	7,247
4月	18,872	6,826	6,730	7,764	7,093
5月	16,794	6,816	6,682	8,146	6,946
6月	13,257	7,395	6,594	7,490	6,846
7月		7,410	5,914	6,891	6,937
8月		6,308	6,236	6,899	6,717
9月					7,044
10月					
年産平均	16,250	7,078	6,937	7,492	7,129

図 1-1-8 月別平均落札価格の推移 (普通大豆・年産比較)



月別平均価格の推移を見ると前年産では、3月~6月に一時的に平均価格が上昇したが、平成20年産では、月を追って徐々に低下する経過を辿った。

主要な産地品種銘柄の落札価格をみると、納豆用銘柄や長野県ナカセンナリ、滋賀県オオツル等の銘柄が前年に比べて下落したが、その他の銘柄は、前年産との価格差は小さいものが多かった。(表 1-1-11)

表 1-1-1 主要産地品種銘柄の落札価格（普通大豆・前年産比較）

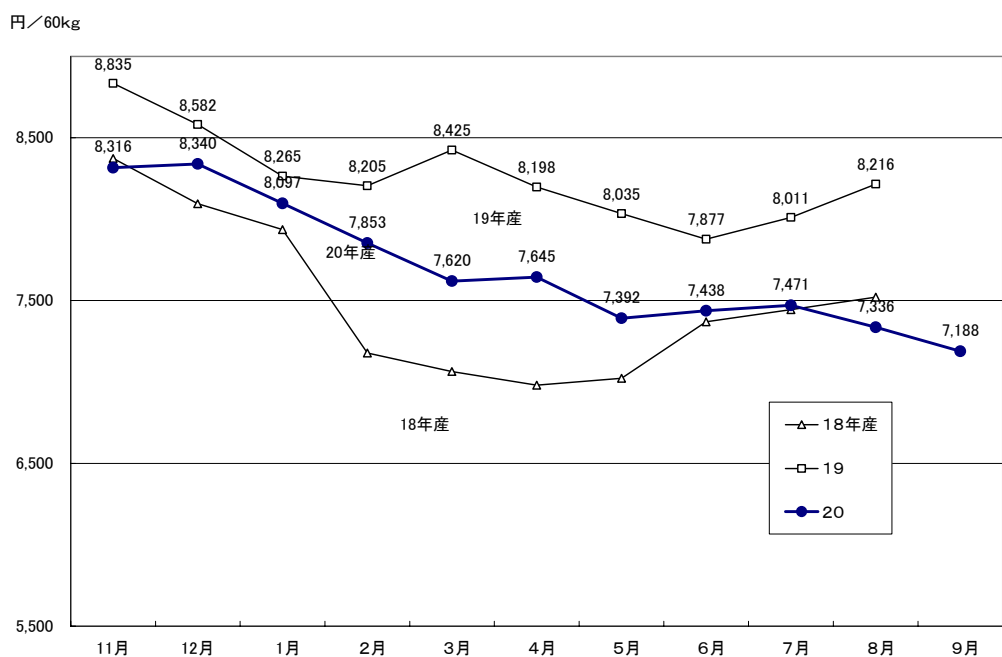
産地	粒別	品種銘柄	落札価格(円/60kg)			落札数量 (トン)	産地	粒別	品種銘柄	落札価格(円/60kg)			落札数量 (トン)
			平成19年産	平成20年産	前年産					平成19年産	平成20年産	前年産	
北海道	大粒	ツルムスメ	8,355	8,075	-280	40	長野	大粒	タチナガハ	6,430	6,447	17	30
	大粒	菅更大袖振	7,334	7,720	386	100		中粒	ナカセンナ	8,860	7,835	-1,025	257
	大粒	とよまさり	8,313	7,470	-843	1,804	岐阜	大粒	フクユタカ	6,999	6,965	-34	693
	中粒	ハヤヒカリ	6,559	5,950	-609	20		大粒	フクユタカ	7,021	7,078	57	812
	小粒	スズマル	17,777	11,611	-6,166	381	愛知	大粒	フクユタカ	6,986	6,897	-89	455
	小粒	ユキシズカ	9,672	11,128	1,456	253		滋賀	大粒	オオツル	8,132	7,072	-1,060
	中粒	秋田	7,319	6,916	-403	129	大粒		エンレイ	7,560	7,149	-411	20
	青森	大粒	おおすず	6,672	6,783	111	467	大粒	タマホマレ	6,941	6,840	-101	109
中粒		オクシロメ	6,300	6,674	374	14	大粒	ことゆたか	6,910	6,792	-118	79	
岩手	大粒	スズカリ	7,006	6,643	-363	30	大粒	フクユタカ	6,897	6,851	-46	307	
	中粒	ナンブシロメ	7,964	7,095	-869	420	兵庫	大粒	サチユタカ	6,740	6,872	132	99
中粒	リュウホウ	7,020	6,369	-651	20	大粒		夢さよう	7,193	7,010	-183	41	
宮城	大粒	ミヤギシロメ	7,374	7,011	-363	780	奈良	大粒	サチユタカ	6,589	6,715	126	20
	中粒	ミヤギシロメ	7,170	6,947	-223	495		鳥取	大粒	タマホマレ	6,433	6,640	207
	大粒	タンレイ	6,787	6,770	-17	218	大粒		サチユタカ	6,490	6,703	213	149
	大粒	タチナガハ	7,060	6,798	-262	297	島根	中粒	タマホマレ	6,410	6,655	245	20
	大粒	あやこがね	6,719	6,698	-21	198		大粒	サチユタカ	6,610	6,703	93	149
	秋田	大粒	リュウホウ	6,829	6,730	-99	723	岡山	大粒	トヨシロメ	7,635	7,306	-329
中粒		タチユタカ	6,710	6,510	-200	40	大粒		サチユタカ	7,613	7,426	-187	40
大粒		すずさやか	9,600	6,360	-3,240	10	広島	大粒	サチユタカ	6,741	6,667	-74	82
山形	大粒	リュウホウ	6,590	6,622	32	89		山口	大粒	サチユタカ	6,492	6,723	231
	大粒	エンレイ	6,769	6,673	-96	218	大粒		フクユタカ	6,516	6,806	290	50
	大粒	あやこがね	6,300	6,656	356	23	香川	大粒	フクユタカ	8,010	6,894	-1,116	31
	中粒	タチユタカ	6,434	6,554	120	169		大粒	フクユタカ	7,799	7,292	-507	68
福島	大粒	タチナガハ	6,480	6,713	233	79	高知	大粒	フクユタカ	7,087	7,040	-47	12
	中粒	スズユタカ	6,469	6,661	192	65		福岡	大粒	フクユタカ	6,862	6,978	116
茨城	大粒	タチナガハ	6,747	6,811	64	99	佐賀		大粒	むらゆたか	7,033	7,046	13
	小粒	納豆小粒	19,896	10,979	-8,917	218		大粒	フクユタカ	6,875	7,023	148	574
栃木	大粒	タチナガハ	6,859	6,787	-72	435	長崎	大粒	フクユタカ	6,802	7,031	229	109
	大粒	タチナガハ	6,796	6,756	-40	50		熊本	大粒	フクユタカ	6,832	6,976	144
群馬	大粒	タチナガハ	6,856	8,073	1,217	40	大分		大粒	むらゆたか	6,748	6,860	112
	大粒	サチユタカ	6,546	6,853	307	30		大粒	フクユタカ	6,902	7,048	146	89
千葉	大粒	フクユタカ	6,871	7,005	134	40	全国		7,492	7,129	-363	21,730	
	大粒	エンレイ	7,352	6,610	-742	723							
新潟	大粒	オオツル	6,936	6,776	-160	69							
	大粒	エンレイ	7,759	6,831	-928	584							
石川	大粒	エンレイ	6,510	6,711	201	130							
	大粒	エンレイ	6,939	6,688	-251	188							

注. 各地方ごとに落札数量が比較的多く、代表的な銘柄を表示した。大粒・中粒銘柄については、原則として、大粒を取り上げたが、中粒が大粒より多い銘柄は、中粒のみ又は大粒、中粒を共に示した。

主要産地品種銘柄のうち、代表的なものの月別落札価格の推移を過年産と比較したグラフを以下に示す。

主に煮豆等に仕向けられる北海道産とよまさりは、前年産を下回る水準で推移した。豆腐に仕向けられる九州産フクユタカ、新潟産エンレイは、前年産並の水準で推移した。(図 1-1-9~11)

図 1-1-9 北海道大粒とよまさり（普通大豆）



主に豆腐用に仕向けられる銘柄のうち、九州産フクユタカは、前年並み、新潟産エンレイは、前年産を下回る水準で推移した。（図 1-1-9～11）

図 1-1-10 佐賀大粒フクユタカ（普通大豆）

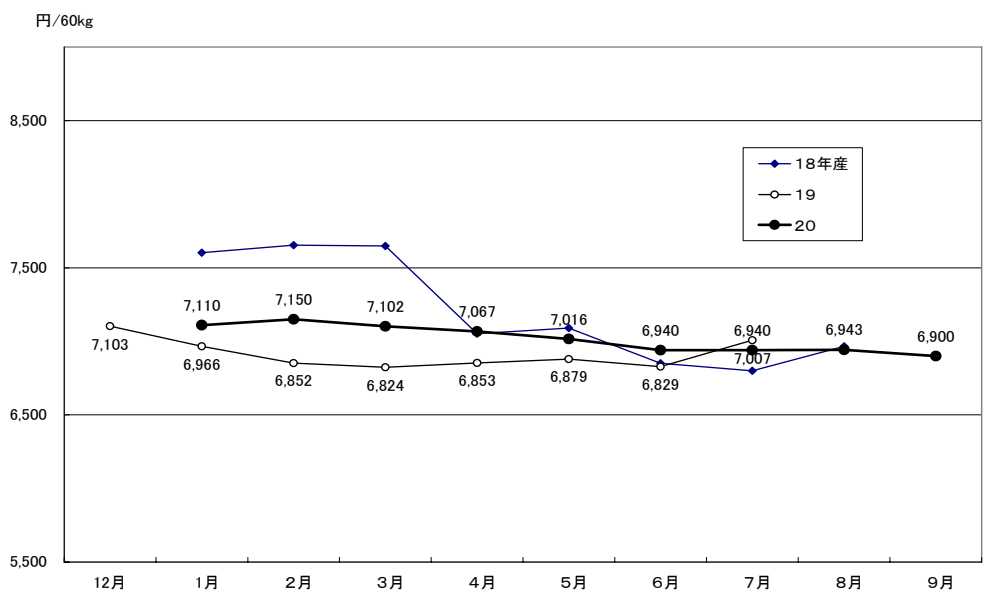
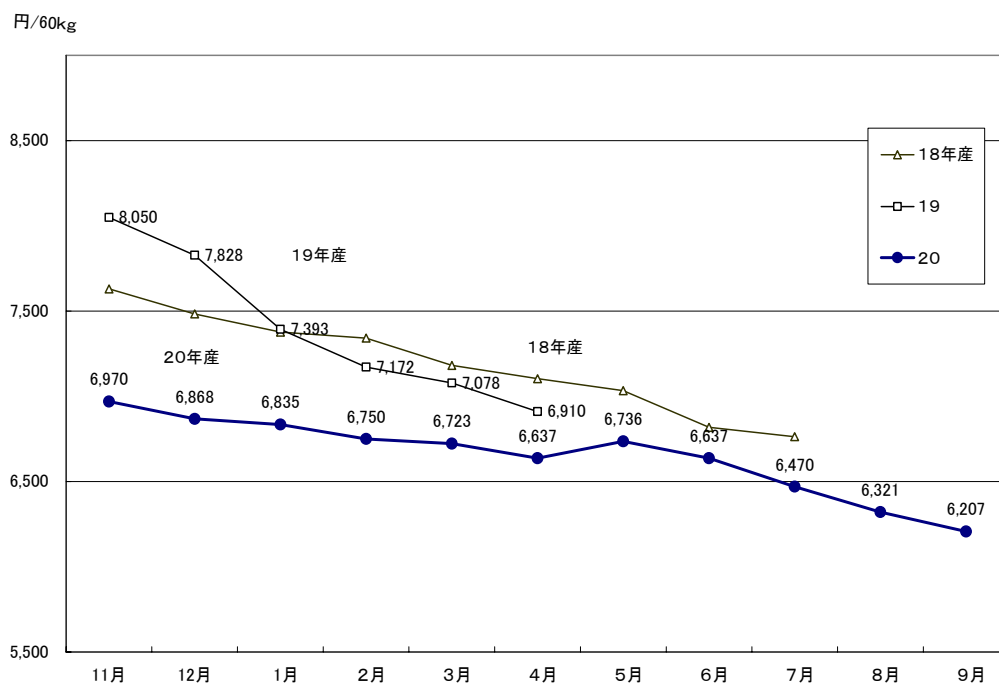


図 1-1-11 新潟大粒エンレイ（普通大豆）



代表的な納豆用銘柄である北海道産スズマルは、12月、1月は、前年産を上回ったが、その後、横ばいで推移した。茨城県産納豆小粒は、前年産を大きく下回り、平成18年産に重なる水準で推移した。(図1-1-12～13)

図 1-1-12 北海道小粒スズマル（普通大豆）

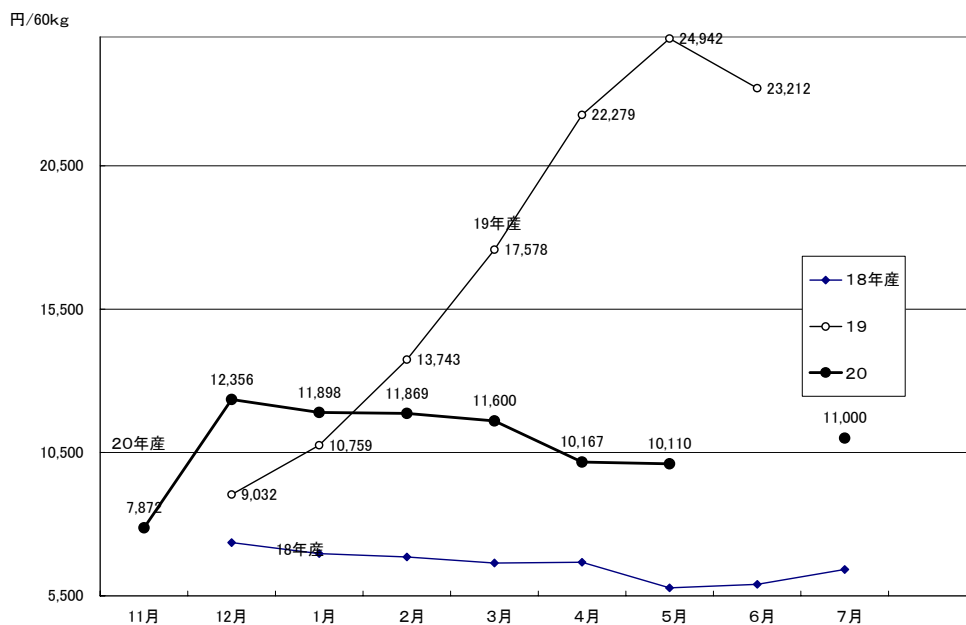
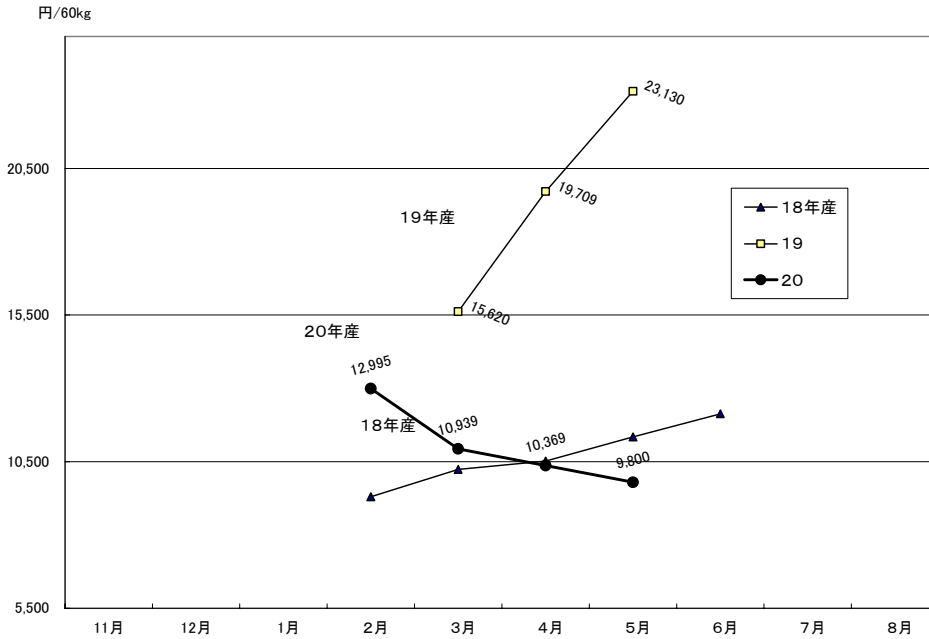


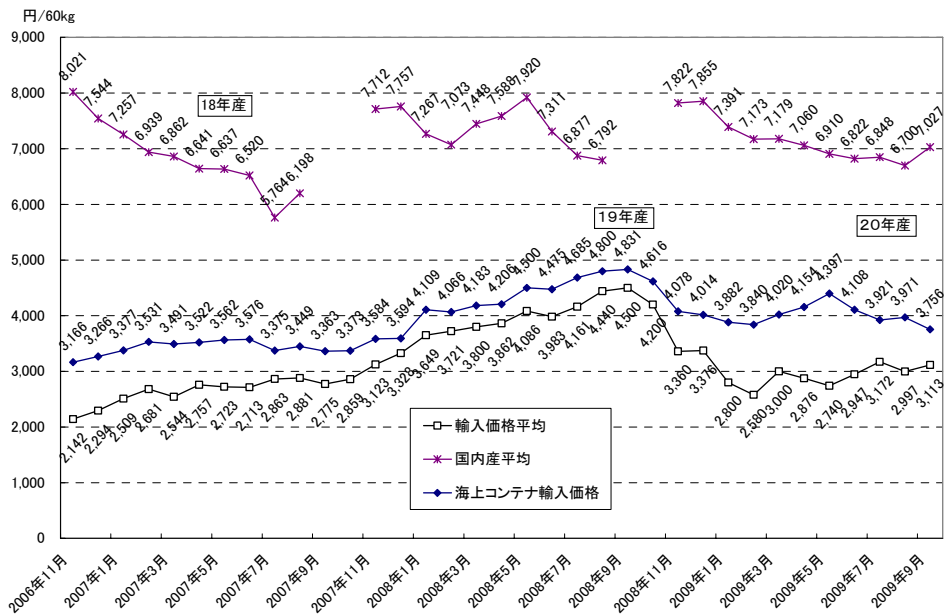
図 1-1-13 茨城小粒 納豆小粒（普通大豆）



内外の大豆価格の推移を図 1-1-14 に示す。

世界的な穀物価格の高騰した時期と重なった平成 19 年産大豆の出回り時期には、輸入大豆の価格は、4000円を超えて内外価格差が縮小したが、平成 20 年産の出回り時期に至って輸入大豆の価格は 3000円程度に下がり、再び価格差が拡大する状況にある。

図 1-1-14 内外大豆価格の推移



注. 輸入価格は、財務省貿易統計による。国内産は、普通大豆、特定加工用大豆を合わせた平均落札価格である。

2. 平成20年産大豆入札取引の運営に関する特記事項

(1) 入札取引に関する規定等

平成20年産大豆入札取引の運営に関して、業務規程等の変更は、行わなかった。

事務処理方法等に関して、以下の事項を実施した。

ア 入札ロット明細書に集荷業者名を表示するための様式の変更

入札取引は、入札回毎に売り手から上場内容の申し出があり、協会は、それに基づいて、入札票、入札ロット明細書を作成し、入札取引に先立って買い手に配付する。

平成20年産の取引の開始に先立って、入札ロット明細書の様式を改正し、従来の記載事項に加えて、取引ロット毎の売り手に対する販売委託者名（以下「集荷業者名」という。）を表示することとし、配付資料作成のためのコンピュータシステムの改修を行った。

集荷業者名の表示は、売り手が全農の場合は、農協名、全集連の場合は、業者名とするが、県単位で集中管理を行っており、集荷業者名を特定できないロットについては、当該産地名（道府県名）を表示することとした。この修正に伴って表示事項・様式を整理し、より使いやすい書式とした。（図1-2-1）

図1-2-1 入札ロット明細書

旧様式例

平成〇〇年産 第〇回 入札ロット明細書

平成〇〇年〇月〇日

略称	産地コード	産地名	荷姿	量目	入札年月日	受渡年月日		
全農	150	新潟	紙袋	30kg	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日		
コード	銘柄 名称	数量				倉所	備考	
		1等	2等	3等	特定			合計
03011	大粒 エンレイ	310				310	芹川町倉庫	
03011	大粒 エンレイ	26				26	新潟食品運輸東港	
03013	大粒 エンレイ			330		330	鳥越倉庫	同一銘柄複数ロット
03013	大粒 エンレイ			330		330	鳥越倉庫	同 上
03013	大粒 エンレイ			330		330	新潟食品運輸東港	同一銘柄複数ロット
03013	大粒 エンレイ			330		330	新潟食品運輸東港	同 上
03023	中粒 エンレイ			330		330	新潟食品運輸東港	同一銘柄複数ロット
03023	中粒 エンレイ			330		330	新潟食品運輸東港	同 上
03023	中粒 エンレイ			330		330	新潟食品運輸東港	同 上
03023	中粒 エンレイ			330		330	新潟食品運輸東港	同 上
08233	小粒 コスズ			145		145	七軒倉庫	
08243	極小粒 コスズ			182		182	七軒倉庫	
03014	大粒 エンレイ				330	330	新潟食品運輸東港	
03024	中粒 エンレイ				330	330	新潟食品運輸東港	
03034	小粒 エンレイ				320	320	新潟食品運輸東港	
08244	極小粒 コスズ				340	340	新潟食品運輸東港	

-銘柄複数ロットを表します

4頁 最終

新様式例

平成〇〇年産 第〇回 入札ロット明細書

平成〇〇年〇月〇日

売り手コード	略称	産地コード	産地名	荷姿	量目	入札年月日	受渡年月日	
001	全農	250	滋賀	紙袋	30kg	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
ロットNo.	ロット区分	銘柄	数量				倉所	集荷業者
			1等	2等	3等	特定		
51010	単	大粒 フクユタカ	330				浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51020	単	大粒 フクユタカ	330				浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51030	単	大粒 フクユタカ	1,650				浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51040	単	大粒 フクユタカ	330				伏見運送(株)第2	JA湖東
51050	混	大粒 フクユタカ	167				伏見運送(株)第2	JA滋賀蒲生町
	〃	大粒 フクユタカ		176			伏見運送(株)第2	JA滋賀蒲生町
51060	単	大粒 フクユタカ		330			浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51070	単	大粒 フクユタカ		330			浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51080	単	大粒 フクユタカ		330			浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51090	単	中粒 フクユタカ		679			浅野倉庫(株)	JA栗東市
*51101	同	中粒 フクユタカ		330			浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
*---2	〃	中粒 フクユタカ		330			浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51110	単	中粒 フクユタカ		330			伏見運送(株)第2	JA甲賀
51120	混	大粒 オオツル	209				伏見運送(株)第2	JALレーク伊吹
	〃	大粒 オオツル		145			伏見運送(株)第2	JALレーク伊吹
51130	単	大粒 オオツル		330			伏見運送(株)第2	JAグリーン近江
51140	単	大粒 オオツル			330		伏見運送(株)第2	JAグリーン近江
51150	単	大粒 オオツル			330		伏見運送(株)第2	JALレーク伊吹
*51161	同	大粒 オオツル				330	伏見運送(株)第2	JA東びわこ
*---2	〃	大粒 オオツル				330	伏見運送(株)第2	JA東びわこ
51170	単	中粒 オオツル			330		琵琶倉庫(株)	JA北びわこ
51180	単	中粒 オオツル			330		伏見運送(株)第2	JAグリーン近江
51190	単	大粒 タマホマレ		331			浅野倉庫(株)	JAおうみ富士
51200	単	大粒 タマホマレ		330			伏見運送(株)第2	JAグリーン近江
51210	単	中粒 タマホマレ		330			伏見運送(株)第2	JAグリーン近江

「同」は同一銘柄複数ロット、「単」は単一ロット、「混」は混合ロットを表します。

2頁

イ 協会のインターネットサイトに登録者専用サイトの開設

協会は、入札取引の結果をはじめ、大豆入札取引に関する情報を従来から協会ホームページに掲載して公表してきたが、平成20年産から登録者に限定して伝達すべき事項については、「大豆入札取引登録者ページ」を新たに開設し、掲載することとした。

協会は、各登録者毎にID、パスワードを設定して配付し、登録者は、インターネットの画面上でID、パスワードを入力することで、「大豆入札取引登録者ページ」を閲覧することが出来る。

「大豆入札取引」のページ（一般公開ページ）及び「大豆入札取引登録者ページ」に掲載している主な事項は、次のとおりである。（図1-2-2参照）

大豆入札取引

- ① 入札取引の結果
- ② 国産大豆入札取引案内
- ③ 年産大豆入札販売計画
- ④ 年産大豆入札取引登録者名簿
- ⑤ 年産入札取引状況（解説）
- ⑥ 入札取引のルール（業務規程その他の規定、規格、銘柄に関する情報等）
- ⑦ その他の関連情報（行政情報、統計資料等）

大豆入札取引登録者ページ

- ① 上場ロット内容（入札ロット明細書、入札票、入札金額チェックシート）
- ② 登録者に対する通知事項（入札保証金振込口座に関する情報、入札取引説明資料等）
- ③ よくある質問（登録者からの質問事項とその回答で登録者一般に参考となる事項）

図 1-2-2 大豆入札取引関係インターネット画面例
「大豆入札取引」のページ（公開ページ）

大豆入札取引 - Windows Internet Explorer

http://www.jsapa.or.jp/daizu/daizutop.html

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Y! 入力して検索 検索 3/2(火)

お気に入り 大豆入札取引 ホーム(M) フィード(D)

(財) 日本特産農産物協会

大豆入札取引

国産大豆100%シンボルマーク

新着情報

- ◆ 2010/2/26
平成21年度2月の入札取引結果が公表されました。
- ◆ 2010/2/24
平成21年度大豆検査結果の整理(1月未現在)を更新しました。

お知らせ

- ◆ 2010/02/19
登録者ページに平成21年産第3回入札取引(2月24日)の上場内容を掲載しました。

入札取引

- ▼入札取引の結果
入札取引の結果(落札価格等) **NEW!**
- ▼大豆入札取引登録者ページ
[登録者ページ](#)
- ▼国産大豆入札取引案内
国産大豆入札取引に参加を希望される方へ
平成21年産入札取引参加登録案内
- ▼平成21年産
平成21年産大豆入札販売計画
平成21年産大豆入札取引登録者名簿
- ▼平成20年産
平成20年産入札取引状況(10月現在)
(第21回国産大豆協議会説明資料)
平成20年産大豆入札販売計画
平成20年産大豆入札取引登録者名簿
- ▼平成19年産
平成19年産大豆入札取引年報

入札取引のルール

- 業務規程
- 買い手登録者遵守事項

売り手・行政情報

- 第21回「国産大豆協議会」の概要について
- 第20回「国産大豆協議会」の概要について

注. 例は、平成22年3月現在のもの

登録者ページ（メニュー画面）



登録者ページ（上場内容）



平成 年産大豆第 回札取引(月 日)

区分	ファイル	対象道府県
全農	 北海道	北海道
	 東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
	 関東、新潟	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、長野、新潟
	 東海、富山、石川	静岡、岐阜、愛知、三重、富山、石川
	 近畿、福井	滋賀、京都、兵庫、奈良、福井
	 中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
	 九州	福岡、佐賀、大分、熊本、長崎、宮崎、鹿児島
全集連		<全国>
入札票		-
入札金額チェックシート		-

[戻る](#)

ウ 買い手登録者に対する上場内容情報の配付方法の変更

売り手からの上場申し出に基づき作成した入札ロット明細書、入札票（以下「上場内容情報」という。）の買い手への配付方法は、電子メールアドレスを登録した買い手に対しては、電子メールの添付ファイルとして買い手毎に配信、その他の買い手に対しては、大豆入札システムのファックスサーバーからISDN回線によってファックスで配信する方法を採ってきたが、上場ロット数が多く、配信するデータの量が多い場合等、相当の時間を要していた。

このため、電子メールの場合は、ホスティングサービス業者が運営するメールサーバーにメーリングリストを設定し、メールサーバーに送信したデータをメーリングリストの機能を利用して、一斉に買い手に送信する方法に変更した。

また、電子メールアドレスを登録していない買い手に対しては、インターネットの登録者ページに上場内容情報を掲載した旨ファックスで連絡し、買い手は登録者ページにアクセスして情報を入手することを原則とし、ファックスでの情報の配信を希望する買い手に限って必要な情報をファックスで配信する方式に変更した。

これによって、上場内容情報の買い手への配信が従来の方式に比べて著しく円滑かつ短時間に行うことが出来るようになった。

図 1-2-3 通知ファックス例

平成20年産第19回 大豆入札取引に係る入札票・入札ロット明細書配付のお知らせ			
			平成21年9月11日
			財団法人 日本特産農産物協会
買い手登録者 御中			
<p>標記について、協会ホームページの登録者限定ページに掲載しましたので、ご確認下さい。 (トップページ http://www.jsapa.or.jp/ にアクセスして入ることができます。) 上場大豆の区分は、以下のとおりです。</p>			
売り手	地域	上場の有無	FAX
全農	北海道	○	
	東北(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)	○	
	関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、新潟)	○	
	東海(岐阜、静岡、愛知、三重、富山、石川)	○	
	近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、福井)	○	
	中国四国(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)	無し	
	九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)	○	
全集連	(全国)	○	
<p>お知らせ：入札保証金の確認は、9月15日(火)に行います。入金される場合は、間に合うようお願いします。</p>			
ファックス配信依頼			
<p>ファックスによる配信を希望される場合は、表の必要な区分のFAX欄にO印を付して、下欄に登録番号、名称を記入して協会あてにファックスを返送してください。なお、地域区分の特定の県を指定することはできません。</p>			
FAX宛先 03(5545)3868			
登録番号	名称		
入札票、ロット明細書に印字のずれ等があった場合は、お知らせください。			

(2) 入札取引の運営方針

平成20年産入札取引の運営に関し、平成20年11月17日(月)開催の入札取引委員会において、入札取引の運営について以下のとおり決定し、入札取引を取り進めた。

- ① 月別取引回数は、月2回を基本とし、必要に応じて調整する。
- ② 落札大豆の受渡期限は、前年産と同様に入札日から60日以内とする。
- ③ 各月の集計値を資料にまとめ、各月月末(休日等の関係で日程は適宜調整する。)に登録者に配付・公表する。

(3) 無効札発生状況

無効札は、入札件数が減少したことから、平成19年産に比べて、大幅に減少した。無効札の理由の半数は入札保証金の不足によるもの、その他は、同一銘柄複数ロットの上場ロットに対し、2以上の異なる入札価格を記入するケース等であった。

表1-2-1 無効札発生状況

平成20年産
大豆入札取引無効札発生状況

入札回	入札日	入札者数	うち無効関係者数	うち保証金関係	入札ロット数	無効札ロット数	うち保証金関係	有効札ロット数
第1回	11月26日	22	0	0	87	0	0	87
11月計					87	0	0	
第2回	12月10日	49	0	0	201	0	0	201
第3回	12月24日	41	2	0	217	3	0	214
12月計					418	3	0	
第4回	1月21日	64	0	0	439	0	0	439
1月計					439	0	0	
第5回	2月4日	56	0	0	292	0	0	292
第6回	2月18日	68	0	0	362	0	0	362
2月計					654	0	0	
第7回	3月4日	66	0	0	385	0	0	385
第8回	3月18日	70	0	0	452	0	0	452
3月計					837	0	0	
第9回	4月8日	77	1	1	465	7	7	458
第10回	4月22日	73	0	0	467	0	0	467
4月計					932	7	7	
第11回	5月13日	78	0	0	393	0	0	393
第12回	5月27日	62	0	0	326	0	0	326
5月計					719	0	0	
第13回	6月10日	61	0	0	317	0	0	317
第14回	6月24日	56	0	0	231	0	0	231
6月計					548	0	0	
第15回	7月15日	51	0	0	206	0	0	206
第16回	7月29日	39	1	0	190	2	0	188
7月計					396	2	0	
第17回	8月12日	34	1	0	145	2	0	143
第18回	8月26日	33	1	0	153	2	0	151
8月計					298	4	0	
第19回	9月16日	30	0	0	115	0	0	115
9月計					115	0	0	
20年産累計					5,328	16	7	5,312
19年産累計					13,563	231	215	13,332
18年産累計					7,831	54	30	7,777

(4) 取引監視

年産の取引開始時点の平成20年11月25日(火)に取引監視委員会全体委員会を開催し、監視の方針について審議した。

また、入札取引実施回ごとに3名の委員が立ち会い、不正がないことを確認した。

取引終了後の平成21年10月16日(金)に取引監視委員会全体委員会を開催し、監視経過について審議した。

3. 平成20年産入札取引に係る平成20年度協会業務・財務資料

(入札取引業務部分抜粋)

(注:平成20年産大豆についての入札取引は、平成20年11月から平成21年10月に実施されるため、予算年度は平成20、21年度となる。)

(1)平成20年3月27日開催の平成19年度第3回評議員会及び第4回理事会において、平成20年度(平成20年4月～平成21年3月)事業計画及び収支予算案を議決した。

(2)平成21年5月28日開催の平成21年度第1回評議員会及び第1回理事会において平成20年度事業報告案及び収支計算書案を議決した。

平成20年度事業計画

第1 事業計画

国産大豆については、その振興を図るための施策の一環として引き続き入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関が入札取引の実施主体となって市場を開設するとともに、その効率的な運営と入札結果の迅速な公表が求められている。

このような情勢のもとで、国の団体を特定した補助事業として、前年度に引き続き大豆価格形成安定化事業を実施する。

第2 会議の開催

- 1 大豆入札取引委員会
- 2 取引監視委員会

第4 大豆価格形成化事業(継続、補助事業)

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、次の事業を実施する。

- ① 大豆入札取引委員会の開催
- ② 取引監視委員会の開催
- ③ 入札の実施
- ④ 入札結果の公表
- ⑤ 指標価格の作成・提供
- ⑥ 入札取引を円滑に実施するための情報の提供

平成20年度 大豆価格形成安定化事業特別会計収支予算

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日

1 収 入

(単位:円)

科 目	20年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
大豆価格形成安定化補助金	55,000,000	60,909,000	△5,909,000	
運営拠出金等収入	7,284,000	5,790,000	1,494,000	
入札保証金収入	100,000,000	100,000,000	0	
計	162,284,000	166,699,000	△4,415,000	

2 支 出

(単位:円)

科 目	20年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
入札業務等に要する経費	16,692,000	19,796,000	△3,104,000	
システム運営等管理運営に 要する経費	42,182,000	43,961,000	△1,779,000	
入札取引に関する委員会の 開催に要する経費	3,410,000	2,942,000	468,000	
入札保証金返還積立金へ繰入	100,000,000	100,000,000	0	
計	162,284,000	166,699,000	△4,415,000	

平成20年度事業報告及び収支計算（大豆入札取引業務部分抜粋）

平成20年度事業報告書

第1 事業の概要

国産大豆については、その振興を図るための施策の一環として入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関が入札取引の実施主体となって市場の開設するとともに、入札結果の迅速な公表が求められている。

国が団体を特定した補助事業として前年度に引き続き、大豆価格形成安定化事業を実施した。

第3 事業実施の概要

3 大価格形成安定化事業（継続、補助事業）

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、関係団体の協力を得て次の事業を実施した。

（1）大豆入札取引委員会の開催

第32回 平成20年5月21日

第33回 平成20年11月17日

（2）取引監視の実施

入札日当日に3名の取引監視委員が立ち会い、取引の公正が確保されているかを監視するとともに、落札を保留すべきロットの有無を検討、落札を保留すべきロットがあった場合、入札日翌日に当日立ち会った委員1名を含む3名の委員で入札状況等を検討し、不正な入札により無効とすべきロットの有無を確認した。

取引監視のあり方に関する申し合わせ等を行う取引監視委員会（全員委員会）の開催

第18回 平成20年8月26日

第19回 平成20年11月25日

（3）入札取引の実施

平成19年産

第10回 平成20年4月 9日

第11回 平成20年4月23日

第12回 平成20年5月14日

第13回 平成20年5月28日

- 第14回 平成20年6月11日
- 第15回 平成20年6月25日
- 第16回 平成20年7月 9日
- 第17回 平成20年7月23日
- 第18回 平成20年8月 6日

平成20年産

- 第1回 平成20年11月26日
- 第2回 平成20年12月10日
- 第3回 平成20年12月24日
- 第4回 平成21年 1月21日
- 第5回 平成21年 2月 4日
- 第6回 平成21年 2月18日
- 第7回 平成21年 3月 4日
- 第8回 平成21年 3月18日

(4) 入札取引結果の公表

入札取引が実施された月の入札取引結果について資料を作成し、各月の末日に、入札取引参加者、報道機関に提供するとともに協会ホームページで公開した。

平成19年産入札取引年報(冊子)を作成し、入札取引参加者、関係機関・団体に配布した。

(5) 指標価格の作成・提供

入札結果に基づいて取引指標価格を作成し、売り手(全農、全集連)に提供した。なお、指標価格は、産地品種銘柄毎に当該月の加重平均値に基づいて作成している。

大豆価格形成安定化事業特別会計収支計算書

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日

1 収 入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
大豆価格形成安定化補助金	55,000,000	55,000,000	0	
運営拠出金等収入	7,284,000	7,543,348	△259,348	内登録料収入 1,900千円
入札保証金収入	100,000,000	113,333,850	△13,333,850	
入札保証金返還積立 金取崩収入	0	338,075,699	△338,075,699	
計	162,284,000	513,952,897	△351,668,897	

2 支 出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
入札業務等に要する 手当	16,692,000	14,310,964	2,381,036	
システム運営等管理 運営に要する経費	42,182,000	47,083,064	△4,901,064	
入札取引に関する委 員会の開催等に要す る経費	3,410,000	1,149,320	2,260,680	
入札保証金返還積立 金へ繰入	100,000,000	264,090,990	△164,090,990	
入札保証金返還金	0	187,318,559	△187,318,559	
計	162,284,000	513,952,897	△351,668,897	

4. 平成20年産入札取引に係る平成21年度協会業務・財務資料

(大豆入札取引業務部分抜粋)

平成21年3月 日開催の平成20年度第 回評議員会及び第 回理事会において、平成21年度（平成21年4月～平成22年3月）事業計画及び収支予算案を議決した。

平成21年度事業計画

第1 事業計画

国産大豆については、その振興を図るための施策の一環として引き続き入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関が入札取引の実施主体となって市場を開設するとともに、その効率的な入札結果の迅速な公表が求められている。

このような情勢のもとで、前年度に引き続き国庫補助事業として大豆価格形成安定化事業を実施する。

第2 会議の開催

- 1 大豆入札取引委員会
- 2 取引監視委員会

第4 大豆価格形成化事業（継続、補助事業）

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、次の事業を実施する。

- ① 大豆入札取引委員会の開催
- ② 取引監視委員会の開催
- ③ 入札の実施
- ④ 入札結果の公表
- ⑤ 指標価格の作成・提供
- ⑥ 入札取引を円滑に実施するための情報の提供

平成21年度 大豆価格形成安定化事業特別会計予算

自 平成21年4月 1日
至 平成22年3月31日

1 収 入

(単位:円)

科 目	21年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
大豆価格形成安定化補助金	47,482,000	55,000,000	△7,518,000	
運営拠出金等収入	8,450,000	7,284,000	1,166,000	
入札保証金収入	100,000,000	100,000,000	0	
計	155,932,000	162,284,000	△6,352,000	

2 支 出

(単位:円)

科 目	21年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
入札業務等に要する経費	17,749,000	16,692,000	1,057,000	
システム運営等管理運営に 要する経費	35,640,000	42,182,000	△ 6,542,000	
入札取引に関する委員会の 開催に要する経費	2,543,000	3,410,000	△867,000	
入札保証金返還積立金へ繰 入	100,000,000	100,000,000	0	
計	155,932,000	162,284,000	△6,352,000	

5. 大豆入札取引委員及び取引監視委員名簿

平成21年11月現在

(1) 大豆入札取引委員

委員長代理	川合 淳二	社団法人 日本食肉協議会	会長
	椎名 宏行	全国農業協同組合連合会	園芸農産部長
委員長	高橋 正郎	宮城大学	客員教授
	武政 邦夫	社団法人大日本農会	会長
	芳賀 正和	全国穀物商協同組合連合会	理事
	林 英伸	互明商事株式会社	代表取締役社長
	富士 重夫	全国農業協同組合中央会	専務理事
	藤川 満	全国主食集荷協同組合連合会	常務理事
	森光 栄一	株式会社森光商店	取締役社長

(2) 取引監視委員

委員長	高橋 正郎	大豆入札取引委員・宮城大学	客員教授
委員長代理	川合 淳二	大豆入札取引委員・社団法人日本食肉協議会	会長
	大矢 祐治	日本大学生物資源学部	教授
	武政 邦夫	大豆入札取引委員・社団法人大日本農会	会長
	千原 信彦	元日本農業新聞	論説委員
	津田 隆	元財団法人日本特産農産物協会	専務理事
	都甲 忠義	元農林水産省構造改善局計画部資源課	課長
	平岩 進	元農林水産省北陸農業試験場	場長
	矢野 勇夫	前社団法人日本有機資源協会事務局	主幹
	行本 峰子	元農林水産省国際農業研究センター	主任研究官